

試験番号：II J-09-0054(4)

受付日：平成22年 1月20日

報告日：平成22年 3月31日

木造接合部の強度試験

[ひねり金物/DH たる木ストッパー/引張試験]

報告書

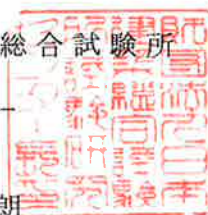
試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

財団法人 日本建築総合試験所

試験研究センター

センター長

工学博士 井上 一朗



技術管理者

構造要素試験室長

完山 利行



試験名称	木造接合部の強度試験 [ひねり金物/DH たる木STOPパー/引張試験]	
依頼者 (所在地)	株式会社 ガイドーハント (大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目5番5号)	
試験実施日	平成22年3月4日	
試験体	形状寸法	図-1.1
	接合金物	(商品名)DH たる木STOPパー 【材質:SGHC(JIS G 3302), 形状・寸法:図-1.2】
	接合具	太めくぎ ZN40(4本, 接合金物と横架材、垂木を接合) 【Z マーク承認金物】
	柱	・木材の樹種等:すぎ製材【無等級材】
	試験体数	6体
	備考	1. 試験体構成部材の諸元を表-1に示す。 2. 試験体構成部材の加工および試験体の組み立ては依頼者により行われた。 3. 上記の図表および仕様は依頼者提出資料による。
試験方法	準拠基準	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)、第6章 試験方法と評価方法、pp.561~592」((財)日本住宅・木材技術センター)に準じて行った。
	試験装置	図-2
	载荷方法	単調漸増引張载荷とした。
	試験体の設置方法	横架材を固定治具とPC鋼棒を用いて鋼製土台に固定した。
	測定機器	荷重値の検出には50kNロードセルを用い、試験体各部の変位量の測定は、図-2に示す位置に設置した変位計を用いた。
試験結果	・試験結果の一覧 ----- 表-2 ・P- δ 関係の包絡線(試験体相互の比較) ----- 図-3 上記試験結果中に示した記号の定義を[付録1]に示す。	
	短期基準接合耐力(P_s):1.46kN 短期基準接合耐力の算定方法を[付録2]に示す。	
担当者	構造部 構造要素試験室 試験責任者 今西 達也 試験担当者 松田 司	